

「^{うま}美し国・三重の地で、共に語り合おう明日のろう教育を」

第23回ろう教育を考える全国討論集会 in みえ

2011年8月19日(金)～21日(日)

速報第7号

2011年 8月21日発

○西滝さん特集!!(?)

20日の速報で功労者にも関わらず目立たなかった西滝さん。でもご安心下さい！ちゃんと特集を組んでおります！（嘘です、忘れていただけです。すみません；）20日の集会に対する感想を含め、今後の課題と展望について語って頂きました。

にしたきのりひこ
・西滝憲彦 氏

(財団法人全日本聾唖連盟理事
教育対策部長)



知事をひっぱり出した実行委員長の意気込みに敬服しました。

今までにない充実した集会です。

書記日本語力をつけることができれば、全ての聴覚障害者が手話と書記日本語のバイリンガル話者になれる日がくるだろうと夢んでいます。

★ふれあい喫茶で一息ついたり、交流したりとゆっくり寛いでください★

20日には多くの方々が来て下さり、盛況な様子がみられました。

21日も9:00から16:00まで営業しています。

四日市総合会館内にある障害者団体・サークルの活動にも一役かっている喫茶店です。是非ご活用ください。

素敵な画像が届きました！！

大屋さんから素敵な画像付きのメールをいただきました。

子どもたちが作ったオリジナルの『焼き杉』です。(紙面では白黒なので見づらいですが、HPではカラーで見ることができます。)

閉会式での子ども企画の報告式がとても楽しみです。

池滝さんにも画像をお見せしたところ、夢がある作品だとほめていただきました。子ども達が『夢』を持てる・叶えられるところまで導くのが私たちの役目だと改めて感じさせられます。

本当にありがとうございました。



第6号で紹介した20日の分科会・選択コースのアンケートの続きです。どの意見にも真剣な思いが感じられ、うれしく思いました。アンケートへのご協力どうもありがとうございました!
21日のアンケートもご協力よろしくお願ひします。

広報担当一同

○第1分科会

人工内耳という新たな選択肢をふまえた今、医療・福祉・教育の連携はなお欠かすことができないと強く感じた発表だった。

人工内耳を装用しても「きこえない・きこえにくい障害」がなくなるわけではない。子ども自身がきこえないことを肯定的にうけとめていけるように手話言語を含めた様々なアプローチ法を提供し、親に対する早めの支援のあり方を考えていきたいと思った。
福井・30代・ろう男性

○第2分科会

大塚ろう学校のビデオ学習内容が目で見えてわかるレポートで非常に良かった。一層興味が持ててよかった。ろう教育の実態を知ることができるので、学ぶ効果大きい。
もう少し生徒が発問に答える姿を見せてほしかった。

静岡・50代・ろう男性

○第3分科会

自立活動は本当に子どもたちにとって自分を見つめる(認識)や社会で生きていくためなど本当に大切な授業だと思います。今日、第3分科会に参加して改めて子どもにあった、又、子どもの将来を考えて系統的におこないたいと思いました。明日もよろしくお願ひします。
40代・健聴・男性

○選択Aコース

ろう学校の教育の現状が聞けてよかった。
ワークショップをすることによって、教えることの難しさを体験できるのもよかった。

埼玉・ろう男性

○選択Bコース

被災地のろう学校教職員達から生の声できいて、本当に良かったです。(TVやインターネットなどで見るより)話をきいて、やはりどんな形でもいいから周囲の人からの支援や心の支えがとても大切だと痛感しました。又、災害発生後のろう学校職員、生徒、関係者が数えきれない程の苦難にぶつかりながらも行動したことも感動しました。でも、これで終わりではなく、少しでも良くなるような対策を粘り強く持ち続けなければなりません。どうもありがとうございました。石川・40代・ろう男性

○選択Cコース

他の大学生から話を聞いて、みんなからも「情報保障」って何?どんなものなの?という意見が多かった。
他の意見を聞いて、手話通訳者があった方がいいとか、問題を解決できるように意見を出し合って、たくさんの情報を得られてよかったと思いました。

愛知・ろう女性(M・K)